

第4章 | 重点戦略

本市では、少子高齢化と人口減少の進行により、将来的に市民生活や企業活動の維持が難しくなっていくことが見込まれます。

本市のめざす都市像である「富士山とともに輝く未来を拓くまち 富士」を具現化するためには、急激な人口減少を緩やかにするとともに、地域経済が発展し、まちに活気があふれ、市民が充実感をもって暮らすことができるような好循環を構築する必要があります。

このため、人口減少や新型コロナウイルスの感染拡大による影響、「フジ6未来創造懇話会」の意見、市民アンケート等を踏まえ課題を整理し、これらを克服するための重点戦略により、本計画の着実な推進を先導していきます。

第1節 重点課題

1 本市が抱える課題

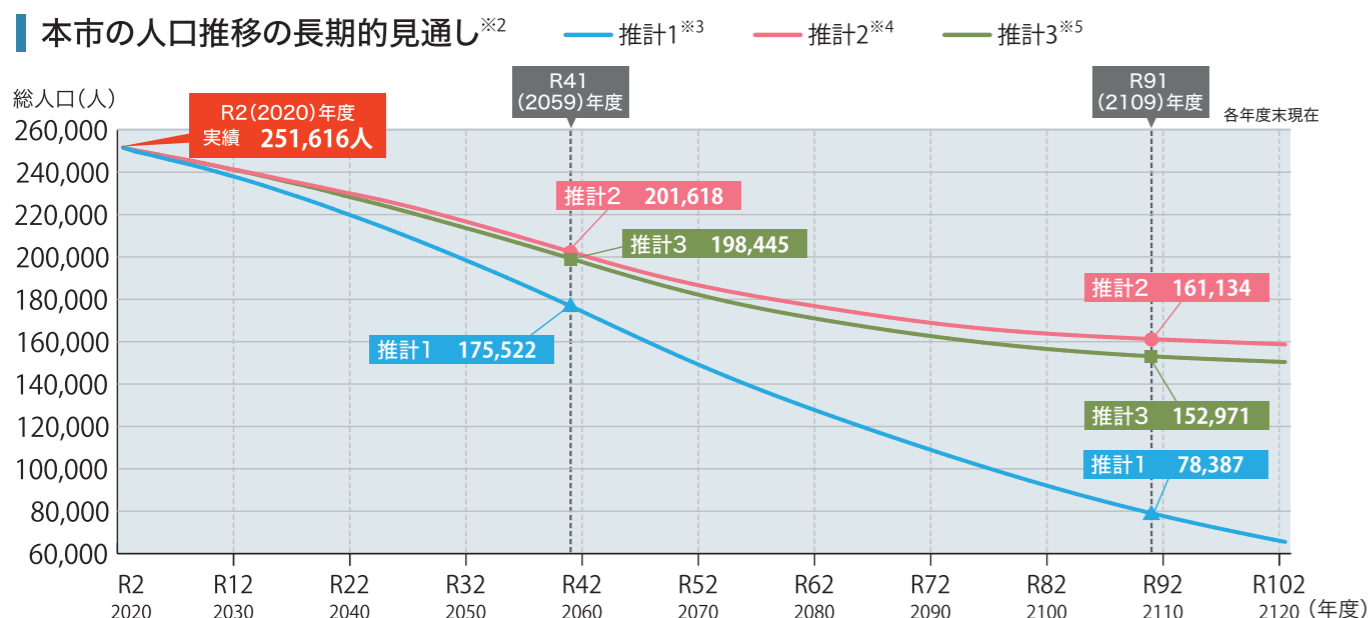
1 人口減少対策に取り組む必要性

急速な人口減少の進行は、地域経済や防災、公共交通、まちのにぎわい等の様々な面に影響を与え、地域の活力を低下させる可能性があります。

本市の人口推移の長期的見通し(推計1)「このまま人口が推移した場合」では、令和41(2059)年度末の人口は175,522人まで減少し、約100年後には、70,000人を下回り、更に減少していくと予測しています。

これに対して、(推計2)「本市への転入者数が本市からの転出者数を上回り(転入超過)、令和21(2039)年度末までに出生率が人口置換水準^{※1}(2.07)を回復した場合」には、令和41(2059)年度末までに20万人程度の人口が確保でき、令和91(2109)年度頃には、総人口が約16万人程度で定常状態になると見込んでいます。

また、(推計3)「(推計2)の人口置換水準の回復が10年遅れた場合」には、令和91(2109)年度の総人口は約15万人程度になると見込んでおり、将来的に一定規模の人口を確保するためには、出生率の向上をはじめとする人口減少対策を更に充実させていく必要があります。



※1 人口置換水準：現在の人口を維持できる合計特殊出生率の目安。日本の人口置換水準は、概ね2.07となっている。
 ※2 人口推移の長期的見通しは住民基本台帳人口をベースに、コーホート要因法により、富士市独自に推計したもの。
 ※3 (推計1)については、人口推計の中間推計と同様の条件で推計したもの。 ※4 (推計2)については、人口推計の高位推計と同様の条件で推計したもの。
 ※5 (推計3)については、出生率の回復を10年間遅らせ、人口推計の高位推計と同様の条件で算出したもの。

2 市民からの意見

「フジ6未来創造懇話会」や本計画の策定に伴い実施した市民アンケート、事業所アンケートなどにおいて、本市について感じていることや要望、将来への不安について意見をいただきました。

暮らしの質

- 公共交通機関が不便。将来、車がないと生活できないのではないかと不安だ。
- まちなかの渋滞が多い。
- 富士駅周辺がさびれていて寂しい。
- 商店街に空き店舗が多い。
- 高齢者になったとき買い物難民になりそうで不安だ。

産業の活性化・就労

- 若い人たちが魅力的に感じる仕事をつくってほしい。
- 市内の産業(紙・パルプ)についてPRしてほしい。
- どの人にも安定雇用を確保してほしい。
- 市内の産業が低迷している。
- ショッピングモールやレジャー施設を充実してほしい。

子育て・教育

- 出産・子育ての経済的負担を減らしてほしい。
- 子どもを連れて遊べる場所がない。
- 子どもを預けやすく、休みを取りやすい職場環境を整備してほしい。
- 大学や専門学校があればいいと思う。

まちの安全・安心

- 災害について考えると不安。災害時の対策をもっと強化してほしい。
- 市民と行政が一緒になって地域防災に取り組んでほしい。
- 災害や感染症などの緊急時に、市に素早い対応をしてほしい。
- 安心して暮らせる犯罪のないまちにしてほしい。

にぎわい・情報発信

- 若者が集まれる場所がなく、娯楽施設が少ない。
- 市内でどんなことを行っているか市の情報をもっと発信してほしい。
- 市外の人を案内できる場所が少ない。
- 市内外に向けて富士市をもっとPRしてほしい。

2 重点課題の整理

市民からの意見を参考に、人口減少の加速化に歯止めをかけ、本市が持続的に発展する好循環を構築するために取り組む重点課題を整理しました。

課題 1 自然災害や感染症などへの対策の推進

市民や事業者の生命・財産を守るため、防災・減災の取組、感染症対策の充実が求められています。

課題 2 地域産業の活性化と魅力的な就労機会の確保

安定した市民生活の基盤を確保するため、地域産業の活性化や魅力的な就労機会の確保が必要です。

課題 3 結婚・出産・子育てへの不安の解消

結婚・出産・子育てへの不安の解消を図るため、結婚や出産を希望する方への支援や、子育てしやすい環境の整備が求められています。

課題 4 将来にわたって暮らしの質を確保

将来にわたって市民の暮らしの質を確保するため、暮らしやすい環境の維持が求められています。

課題 5 住む楽しさやまちの魅力の創出

まちに魅力を高め、人を呼び込むため、シティプロモーションの推進や多様な交流機会の創出が必要です。



第4章 | 重点戦略

第2節 課題解決に向けた5つの戦略

本市の重点課題に対して、迅速かつ効果的に取組を進めていくための重点戦略として、次の5つの戦略を位置付け、「富士市まち・ひと・しごと創生総合戦略」※1として展開し、人口減少による将来の影響を抑え、現状の課題に対応しながら、地域における好循環の形成を図ります。

また、重点戦略の推進にあたっては、SDGsの理念や考え方を取り入れ、デジタル技術の最大限の活用を図っていきます。

戦略 1 災害等への対策を強化し、安全・安心なまちづくり

自然災害等に対する安全・安心の確保は、市民生活や企業活動を将来にわたって継続的に行うための根幹となります。

このため、安全・安心なまちづくりに取り組み、激甚化する豪雨・水害などへの対策を強化するとともに、今後想定される大規模地震等による被害の軽減を図るほか、防犯まちづくり体制の強化や感染症対策の充実など、市民や事業者が安心して活動できる社会基盤の強化を目指します。



消防訓練の様子

- 主な取組**
- 地震対策の強化
 - 防犯まちづくりの強化
 - 危機管理体制の強化
 - 医療人材の育成・確保 など

戦略 2 活力ある産業を集積し、やりがいを感じるしごとづくり

生活基盤を安定させ、暮らしを充実させるためには、魅力ある多様な就労機会を創出し、個々のライフスタイルに合った就労を支援する必要があります。

このため、コロナ禍により影響を受けた地域経済の速やかな回復を図るとともに、産学金官の連携による新産業の創出や既存産業の活性化支援、企業誘致などにより、産業の集積と雇用機会の拡大を図ります。

また、女性が活躍できる産業の創出や、働きたくても働くことができない方への支援、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を行うなど、やりがいをもって仕事ができる環境の創出を推進します。



ものづくり力交流フェアの様子

- 主な取組**
- 雇用及び就労への支援
 - 既存産業の活性化支援
 - 新産業・成長産業への参入支援
 - 経営基盤の強化及び起業・創業支援 など

※1 富士市まち・ひと・しごと創生総合戦略：人口急減・超高齢化という大きな課題に対して、本市の特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指した戦略であり、第1期計画を平成27(2015)年に策定している。第2期計画は、令和4(2022)年度から5か年の計画である。

戦略 3 結婚・出産・子育て等の希望を実現できる社会づくり

若い世代の未婚率の増加や出生率の低下は、経済的負担感や結婚・出産・子育ての各ステージにおける生活の変化に対する不安などの要因が複雑に絡み合っていることから、各ステージにおける希望を実現できる社会環境を整える必要があります。

このため、結婚・出産・子育てに至る切れ目のない支援を行うとともに、教育環境の充実に向けた取組を推進します。



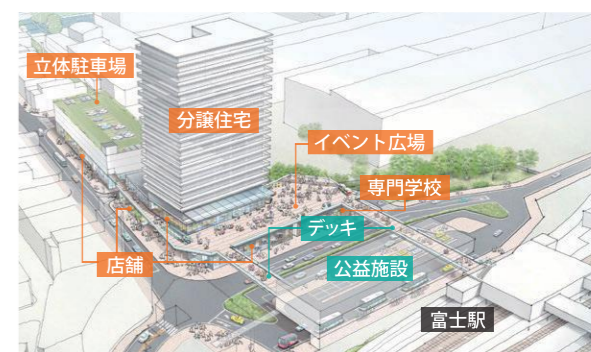
北西部児童館の様子

- 主な取組**
- 切れ目のない子育て支援の充実
 - 子どもの健やかな成長への支援
 - 子育てしやすい環境の整備
 - 教育の質の向上及び環境整備 など

戦略 4 地域と拠点がつながり、快適に暮らせる環境づくり

安心して住み続けたいと思うまちを実現するためには、都市機能の充実や日常生活におけるサービス機能を維持・確保する必要があります。

このため、生活に必要な施設を公共交通の結節点がある拠点に集約配置し、これらの拠点と各地域が連携したまちづくりを進めるとともに、既存集落地における暮らしの質の維持やまちなかにおけるにぎわい空間の創出を図ります。



富士駅北口再開発(イメージ図)

- 主な取組**
- 地区まちづくり活動の推進
 - 都市のスポンジ化の抑制
 - 魅力あふれるまちなかの形成
 - 公共交通の充実 など

戦略 5 人を呼び込み、にぎわいと交流を生む魅力づくり

多様な人を呼び込み、地域を活性化していくためには、本市の特色などを活かし、まちの魅力を向上させるとともに、市内外に積極的に情報を発信していく必要があります。

このため、本市の様々な地域資源の魅力を一層高めるとともに、シティプロモーションの推進による情報発信の強化のほか、国内外から人々が集まる機会の創出を図ります。



富士山登山ルート3776(ルート図)

- 主な取組**
- 富士山活用の推進
 - 移住定住の促進
 - まちのブランド強化及び愛着と誇りの醸成
 - スポーツ交流の推進 など

重点戦略において理想とする未来の姿

変化する時代においても 好循環が構築され持続的に発展するまち

めざす都市像である

「富士山とともに輝く未来を拓くまち ふじ」を具現化するため、
市民や企業の皆さんとともに、
変化する時代においても好循環を構築し、
持続的に発展できるまちをつくります。

あらゆる分野で、
SDGsの理念に沿った取組や
デジタル活用を進めていきます。

SDGsの理念の導入

SDGsの理念に沿った取組を総合的に推進することにより、
持続可能な社会を目指します。



詳しくは ▶ P35

デジタル変革の推進

デジタル技術を活用し、暮らしの質や価値を高め、安心で豊かなまちづくりを推進します。

デジタル変革の3つの柱

- 「市民サービス」のデジタル変革
- 「地域活性化」のデジタル変革
- 「行政経営」のデジタル変革

詳しくは ▶ P36

戦略 4

暮らしの質を維持

- 日用品を買う店が地域にある
- まちなかにふさわしい商業施設やサービス関連施設がある
- 地域で支え合う環境が整っている
- 良好な景観や住環境が整っている
- 幹線道路が整備されて渋滞が緩和されている
- 公共交通の利便性が向上している

戦略 3

子どもを 生み育てやすい環境

- 結婚・出産・子育ての希望がかなえられる
- 子どもや家族の健康が守られている
- 子育てに関する情報が手に入る
- 地域で子育ての悩みが相談できている
- 子どもに確かな学力がついている

戦略 2

産業・経済が成長

- 競争力を備えた産業基盤が整っている
- 新たに事業を始める人や事業者が増加している
- 中小企業等が元気になり、地域の産業が活性化している
- 農業や林業の担い手となる若者が増えている
- 多様な働き方への関心が高まり、自分に合った働き方をしている

戦略 5

まちに活気

- 市内のイベントなどに参加する人が増えている
- 多様な人が集まり、新たな交流が創出されている
- 本市を訪れ、地域を回遊する観光客が増えている
- 本市を好きな人が市内外で増えている
- 本市の知名度が高まり、住みたくなるまちになっている
- 市外からの移住者が増加し、市民と交流している

戦略 1 安全

- 犯罪や事故が少なくなっている
- 医療体制が充実している
- 市民力・地域力が高くなっている

安心

- 自然災害への備えができています
- 道路や公園などが安全に保たれている
- 迅速な救急・救助体制が整っている